



SDGs&カーボンニュートラルに参画しよう

市民力、地域力を育むまち

教育・連携

みんながたすけあう ふくしのまちづくり 社協のしごと

能美市には、「能美市社会福祉協議会 (のみし しゃかいふくしきょうぎかい)」という団体があります。

この団体は「社協 (しゃきょう)」ともよばれていて、赤い羽根のぼきんなどでも知られています。

社協は、ひとりぐらしのお年寄りや、体が不自由な人たち、子どもたち、

みんなが安心してくらせるまちをつくるために、たくさんの人といっしょに活動しています。

社協のしごとが貢献 (こうけん) しているSDGs (エスディーゼーズ) のゴール



①ゴール1/貧困をなくそう

お金や暮らしに困っている人の相談にのって、くらしのサポートをしています。



②ゴール3/すべての人に健康と福祉を

お年寄りや体の不自由な人も、安心してすごせるまちをめざしています。



③ゴール10/人や国の不公平をなくそう

どんな人も、年れいやしょうがいの有無にかかわらず、平等にくらせるように活動しています。



④ゴール17/パートナーシップで目標を達成しよう

ボランティアさんや福祉施設、まちの人たちと協力して、よりよい地域をつくっています。

カーボンニュートラルへの貢献

能美市社会福祉協議会は、フードドライブにも取り組んでいます。フードドライブとは、家庭であまっている食品を集めて、食品を必要としている人に提供する活動です。

日本では、1年間に472万トン*の食べものが食べられるのに捨てられています(食品ロス)。

この食品ロスによるごみをもやすときにCO₂(二酸化炭素)がたくさん出ます。



*農林水産省及び環境省(2022年度推計)

たとえば

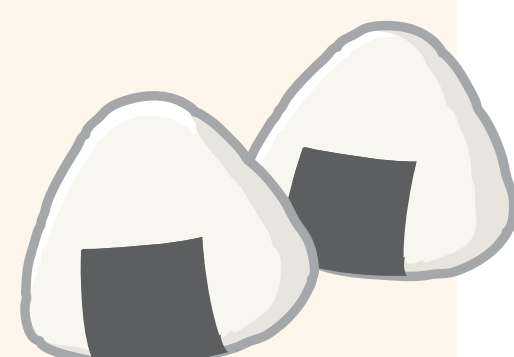
おにぎり1個分(約103g)の食べものを捨てると、約57gのCO₂が出るといわれています。

もし社協のフードドライブで、1か月に100kgの食べものを集めて、捨てずにすんだら、

$100\text{kg} \div 0.103\text{kg} (\text{おにぎり1個}) \approx 970\text{個分}$

$970\text{個} \times 57\text{g} = \text{約} 55,290\text{g} (\approx 55\text{kg})$ のCO₂を減らすことができます!

これは、テレビを800時間以上つけっぱなしにしたときと同じくらいのCO₂の量です!



わたしたちにできること

社協の活動のように、たすけあいの気持ちとちょっとした行動で、地域の人を大切にすることができます。

皆さんも、社協のイベントに参加したり、社協の活動をお手伝いしたりしてみませんか。

「やさしさ」と「地球を思う心」をもって、これからもみんなといっしょに、いいまちをつくっていきましょう。